那加二東部 福祉だより

第 19 号
平成15年3月31日発行
編集・発行
各務原市社会福祉協議会
那加二東部支部

私の住む町から

今回は桜町一・二・三丁目・大東町自治会を紹介します。
次回は織田町・信長町・信長町三丁目・東新町・住吉町の予定です。

桜一の各種交流会

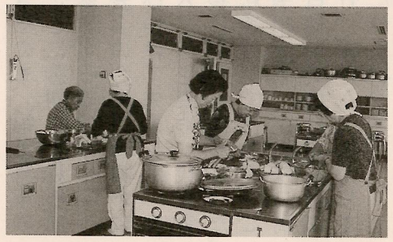
桜一婦人会　熊田皆子

私達の町内、桜町一丁目は年度始めに、自治会、老人会、婦人会、中学校外クラブ、子供会の役員の顔合せから始まります。

四月の祭りのみこし作りは大勢の人がお手伝いに出てこられます。

五月にはそろそろ暑くなる時期に、東部集会施設にて、ゴキブリだんごを沢山作り各戸に配ります。毎年続けておりますので、我が家ではゴキブリが出なくなり、助かっております。

八月には町内こぞっての盆踊り大会が行われます。朝からやぐらを組んだり、だんごや、焼きとりを焼くなどの、仕度をして、夏の夜楽しい一時を過ごします。



私達の活動のメインは、毎年九月の「敬老の日」に因んで行う老人会、婦人会の交流食事会です。前もって役員会で献立を相談をして決めますが、主食はきまって五目ごはんです。それに、その年に合わせて、ホウレンソウの白和えや、芋の煮っころがしなど、目先を変えて作ります。みなさん本当に喜んでいただけます。お顔のみえない人の安否を尋ねたり、いろいろお話しの出来るのもよい事だと思っております。

年の暮に近い十二月には、おはぎ作りをします。まったくの手作りで、前日からたくさんのあんこを、用意します。当日は朝早くからエプロン掛で、それぞれの仕事を受けもち、最後に出来上ったおはぎをパックにつめて友愛訪問としてお届けします。

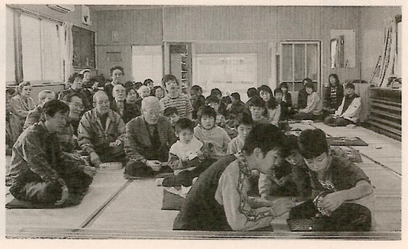
こんな行事を毎年続けているおかげで、町内のお年寄りの人、又子供の顔もよくおぼえ、買物の時や、道ですれ違った時に、言葉をかけたり、向うから感謝の言葉をいただいたりすると、ボランティアはいいなあとうれしくなります。今後共このような活動を続けていく事が大切だと思います。

楽しかったクロリティ大会

桜町二丁目　近隣ケア・グループ

桜町二丁目の近隣ケア・グループでは、年の瀬も迫まった十二月十五日、子供会、「いきいきサロン」と合同で、三世代ふれあい大会として、クロリティ、ビンゴゲームを行いました。

午前九時に桜町二丁目公民館に集まり、二手に別れ、大人も子供も入り混じり、クロリティが始まりました。初めのうちは、要領がわからず苦戦をしていたようですが、時間がたつにつれ、みんなとても上手にできるようになりました。ビンゴゲームも誰もが目を輝かせて楽しんでいました。



お昼には、ぶた汁とおにぎりの昼食が出ておいしくいただきました。

地域の人々と共に、子供達と一緒に楽しいひとときを過ごすこと

平成14年度各務原市社会福祉協議会那加二東部支部年間活動報告

年月	日	活動内容
4月	＊24日	支部理事会
	＊24日	支部会計監査
		門前2・桜2・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
		桜町3丁目いきいきサロン開始
5月	＊14日	支部役員総会
	＊30日	社協支部長・推進員合同会議に出席
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
6月	6日	支部役員研修会
		（東海女子短期大学　長渕先生を招いて）
	＊26日	地域介護講習会
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
7月	2日	福祉だより第18号編集委員会
	＊25日	会費趣旨説明会
		大東町・信長町・門前2・桜2・桜3
		いきいきサロン実施
8月	1日	福祉だより第18号発行（楠町1・2・3・4・5丁目）
	1日	親子ふれあい映画会（東部集会場）
	＊1～31日	社協会員募集推進月間（青少年育成市民会議共催）
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
9月	＊8日	市福祉フェスティバルに参加
		高齢者慰問共催
		（贈り物に子供が書いたメッセージを添えて）
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
10月	6日	市民運動会共催
	10日	支部理事会
	＊23日	岐阜県社会福祉大会に参加
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
		共同募金・歳末たすけあい月間（10～12月）
11月	11日	お年寄を囲む会
	＊30日	各務原市社会福祉大会に参加
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
12月	＊6日	歳末福祉座談会
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
15年1月	＊	門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
2月	＊17日	福祉だより第19号編集委員会
		門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施
3月	10日	支部理事会
	25日	支部役員総会
		福祉だより第19号発行（桜町1・2・3丁目、大東町）
	＊31日	門前2・桜2・桜3・大東町・信長町
		いきいきサロン実施

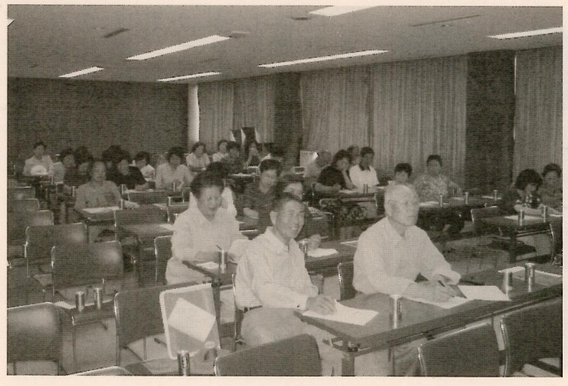
平成14年度各務原市社会福祉協議会　那加二東部支部　収入支出決算<2月28日現在>

支出の部　（単位：円）

	科目	本年度予算額	本年度中間決算額
1	事務費	3,000	2,948
2	通信運搬費	3,000	0
3	会議費	18,000	8,457
	① 理事会	5,000	3,407
	② 総会	10,000	4,275
	③ 役員会	3,000	775
4	共通実施事業費	400,000	389,730
	① 福祉教育事業	30,000	26,370
	② 友愛訪問事業	350,000	350,000
	③ 支部育成事業	20,000	13,360
5	メニュー事業費	531,000	399,569
	① 親子ふれあいの会	40,000	38,850
	② お年寄りを囲む会	96,000	89,527
	③ 支部だより発行	147,000	68,816
	④ 会員募集事業	5,000	1,890
	⑤ ふれあいいきいきサロン	231,000	195,000
	⑥ 地域介護講習会	12,000	5,486
6	歳末たすけあい事業費	121,000	127,342
7	その他の事業費	257,000	257,000
	① 市民運動会	230,000	230,000
	② 青少年育成	10,000	10,000
	③ 老人クラブ	17,000	17,000
8	予備費	170,325	
	次月へ繰越金		183,768
	合計	1,503,325	1,368,814

収入の部　（単位：円）

	科目	本年度予算額	本年度中間決算額
1	交付金	358,000	354,000
2	メニュー事業助成金	480,000	348,510
	① 親子ふれあいの会	16,000	16,000
	② お年寄りを囲む会	81,000	68,000
	③ 支部だより発行	147,000	67,620
	④ 会費趣旨説明会	5,000	1,890
	⑤ ふれあいいきいきサロン	231,000	195,000
3	歳末たすけあい事業助成金	120,000	119,000
4	その他の助成金	350,000	350,000
5	繰越金	195,295	195,295
6	雑収入	30	2,009
	合計	1,503,325	1,368,814



6月6日支部役員研修会

那加二東部支部の数字

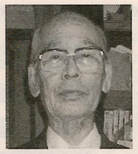
人口	5,939	人	
自治体加入世帯数	2,050	世帯	
65歳以上の高齢者	1,172	人	19.7%
80歳以上の高齢者	240	人	4.0%
65歳以上のひとり暮らしの高齢者	86	人	7.3%（65歳以上の）
ねたきり老人	18	人	1.5%（65歳以上の）
ふれあいいきいきサロン	5	サロン	（市内17支部中最多）
社協特別会員数	102	会員	5.0%
社協一般会員数	1,566	会員	76.4%

ができました。

参加者は大人四十名、子供二十名と大勢の人が参加され、明るい笑い声が公民館一杯にあふれ、町内の人々の絆がしっかりと結ばれたような気がいたしました。

自らも参画する福祉で

桜町二　古川徳美



私達の街は水害や山崩れの災害もなく又生きて行くのに一番大切な水に恵まれていて、近県では干魃続きのため給水制限されている時でも、我が街は豊かな水に恵まれて公園の噴水も普段と変らず吹き上げています。ほんとうにありがたい自然の恵みです。

この美味しくて豊富な水に感謝しながらも、私は植木や花畑などには、屋根に降った雨水を全部溜めておいてこれを使用しています。これも自然に感謝しての心からです。

又私達は西生涯学習センターの管内で一五〇以上のクラブサークルがあり、それぞれ熱心に勉強しています。これも近くに総合福祉センター等多くの公共福祉施設に恵まれているからこそ出来ることです。毎年一回発表会を盛大に行なって居り、今年度も去る十月二十七・二十八の両日、産文センターで行ないました。このようにして勉強ができるのも、福祉施策のお陰であることに感謝して数年前から自らも参加する福祉として、サークル発表会の会場で感謝の福祉募金を呼びかけて来ました。今回も貳拾万六千円を集め、代表者が各務原市長にお届け致しました。

まだまだ私達の手で行なえることと即ち街の美化運動、花と緑の街づくりなど自然を大切にする事がいっぱいあり、皆さんと協力して更に頑張りたいと思います。

ありがとう

桜町三丁目　樋口利導

私が子供の頃「幸せになる言葉の贈り物がある」と教えてくれた母が一昨年、九十五歳で他界。みんな知っているけど相手の心に伝わるように使っている人は少ない。

「ありがとう」は、口から出る宝石だ、使えば使うほど何カラットにも輝く魔法の言葉になるよと。

昨年四月開設した「さんさんサロン」は、桜町三丁目自治会主導によるサロンで、町内の皆さんの積極的な支援と協力により、毎月二回公民館で開催しています。手芸・水墨画・健康相談・囲碁など、趣味の交流を通じ語らいとふれ合いを大切にしながら、愉快な一時を過ごしています。又、子供さんが楽しく茶道の初歩を学ぶお抹茶教室では、親子が一体となって真剣な眼差しで受講し、賑やかな茶会になっています。

昨年十一月、市中央図書館展示ホールで、町内主催の「趣味の作品展」にサロンコーナーを設け、皆さんの感性溢れる素敵な作品を展示し、多くの市民に鑑賞して頂き、心の交流に相応しいサロンとして充実感に満ちた一年が過ぎようとしております。

講師は、町内の名士や参加者で自分が得意とすることを教え合い、短時間で素晴らしい作品などが完成されていく光景と、笑顔で「ありがとう」と感謝の言葉をおいて満足げに帰っていかれる姿に、心が和らぎ感動しながら今年も頑張ろうと胸が膨らみます。

ありがとうは、自分が一番素直な気持ちになった時、一番優しい気持ちになった時、感謝の気持ちが言葉になった時にあることに気づき、初めて心から「ありがとう」。

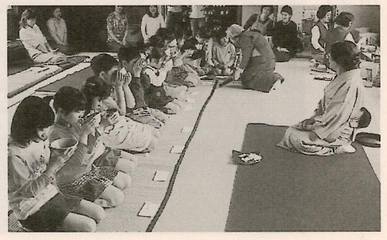
お茶をならって

桜町三丁目　杉浦詩茉

わたしは、お茶をならってびっくりしました。かんたんだと思ったけど、とってもむずかしくて、

「えっ。」

とおもいました。中でもふくさをおるのがきれいにできなくて、苦労しました。けど先生や大人の人がていねいにおしえてくださって、最初よりは、きれいにできるようになりました。でもまだまだめで、もっとれんしゅうしていつか先生のように、すごくきれいにできたらなぁと思います。



次にむずかしかったのは歩き方です。右からとか左からなどちがうからです。でも、何度かやるうちにだいたいできるようになりました。これも、先生方がおしえてくださったおかげです。

これからも、お茶をつづけていきたいし、いつかきっと先生みたいにお茶を上手にできるようにな

りたいと思いますし、わたしの一番の希望はお父さんやお母さん、そして町内のみーんなにおいしいお茶を入れてあげることです。

さんさんサロンでお茶をならって

桜町三丁目　すぎうら　さり

わたしは、さんさんサロンでお茶をならっていますが、子どもは、わたしたちだけで、あとは大人ばかりです。

『ほんとにじょうずにできるかなぁ?』

と思ったけど、ならいはじめてからは、せんせいにおしえてもらったり、せいざをしているときに、大人の人たちに、ふくさのたたみかたをおしえてもらって、あまりふあんに思うことがなくなりました。

せいざも、さいしょはすごく、あしがいたくなってしまったけど、ずっとやっているとなれてきました。ふくさは、お茶のなかでいちばんむずかしかったけど、せんせいにやさしくおしえてもらって、ならいはじめたころより、自分でも『すこしうまくなったかなぁ』とおもいます。

お茶のつくり方は、けっこうかんたんかなぁと、ならったころに、道具をみておもったけど、やってから、大人の人にのんでもらうようになって『まずかったらなぁ』とおもうようになってきました。でもずっとお茶をつづけて、いつか、せんせいのような、お茶のせんせいになりたいなぁとおもいます。

三世代ふれあい餅つき、花もち作り

大東町子供会代表　加藤　みつき

年末の餅つきと花もち作りが、昨年十二月七日に行われました。

準備と指導は、三世代ふれあい広場の指導員の方々にお願いしました。その人達は、少年時代に、田舎で経験した事を、思い浮べながら子供に、やさしく教えてくださいました。

餅つきに欠かせないのが、臼と杵です。それは、町内の林垣さんに、昔使っておられたもので、皆さんが楽しんでいただけるのならと、町内の物として、いただいてきました。

いよいよ、餅つきが始まりました。始めは、手ほどきを受けましたが、子供達が交替でつかせてもらいました。お母さん達の手で、丸められたつきたての餅を、子供達の手で更に小さくちぎり丸めて、用意してあった木の枝に、赤と白の餅をくっつけて、花が咲いたように、餅花が出来ました。残りの餅は、きな粉、あん、大根おろしをまぶし、皆んなで楽しくおいしく食べました。

それぞれ作った花もちは、家に持ち帰りました。各家には、きっとめずらしい、赤と白の花が咲いて、楽しいお話ができた事と思います。

夏休みは、老人クラブとのクロッケゴルフ大会、七夕まつり、秋の市民運動会等、いろんな行事を通じて、三世代ふれあいを、大切にしていきたいと思っております。

野球場が住宅地に

大東町　小木曽　建吾

時が経つと記憶が薄れます。改めて振り返ってみます。現在の大東町の中心部はかっては高校野球の甲子園出場三岐大会決勝戦が行われた程の有名な球場でした。この球場が名古屋鉄道より借地契約が切れて旧那加町に返還された後、暫くの間は球場として利用されることなくソフトボールや自動車の練習場となっていました。

その後、旧那加町に岐阜市との合併案、新都市構想（現各務原市）が浮上した際に住宅地とすることが決定し、宅地造成工事が着工、分譲されることとなりました。

分譲は購入希望者による競争入札により実施され、昭和三十六年八月九日より三回の公売で一三〇区画が売却されました。入札の結果、予定価格に達しなかった区画は一時、町預りとなり、希望者は後日町当局と個別対応で購入しました。その収益金は那加中学校の鉄筋コンクリート三階建の建設費に充てられ町の発展と文教に寄与しました。

一方、完成した住宅地は各務原市誕生前に桜町一丁目の一部と周辺区域を合併し、大東町と命名されました。

四十二年前に宅地を入手した若い世代も、いつしか敬老の日には蜂蜜が贈られる世代となりました。住民の高齢化が進む中、今後の連合会のご指導をよろしくお願いします。